

はじめに

本研究は、国立特別支援教育総合研究所の第5期中期目標期間に新たに設けられた重点課題研究の1つとして、国が推進するGIGAスクール構想を踏まえて「ICT等を活用した障害のある児童生徒の指導・支援に関する研究」をテーマに令和3年度～4年度の2か年の計画で開始されたものである。

GIGAスクール構想は「全ての人にグローバルで革新的な入口を」(Global and Innovation Gateway for All)と謳われており、そこでは多様な子供たち（特別な支援を必要とする子供を含む）を誰一人取り残すこと無く、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を目指したものである。

特別支援教育においては、これまで障害の特性に応じてICT活用が積極的に行われてきたが、報告書において研究協力機関である青森県教育委員会の特別支援学校教員への悉皆調査の結果からも明らかなように、それが全ての教員によって取り組まれてきたとは言えない。GIGAスクール構想では全ての子供たちがICT活用に取り残されないことを求めていることから、それに向けて学校全体として取り組むための知見の提供が必要であると考えられた。

そのため本研究ではそれらの知見を提供するためのガイドブックの作成を進めてきた。2年間の研究では、研究協力機関として青森県教育委員会と京都府立舞鶴支援学校に参画を頂いた他、2年次には小学校2校、特別支援学校11校の協力を得て研究を進めることができた。

青森県教育委員会からは2年間にわたる特別研究員の派遣を通じて県内の取組から多くの情報を頂いた。青森県教育委員会の取組は、県下の全ての特別支援学校（全障害種）の教員を対象としたICT活用の悉皆調査や全校のICT活用推進リーダーを対象とした研修会の実施であり、これらから得られた調査結果や演習・協議の結果は、1つの都道府県全体の取組例として、本研究の重要な知見となった。例えば、研究チームでは、これらの演習・協議等で得られた合計456の意見をKJ法を参考にした手法を用いて「ICT活用の推進に向けた10の視点」を導出し、さらにアンケート調査によって「ICT活用に必要な5つの取組」としてにまとめることで次に述べる全国の先進校の調査の貴重な情報とすることことができた。

2年次は、GIGAスクール構想が推進される中、特別支援学校において1人1台端末環境におけるICT活用を推進するために全国の先進校に対する聞き取り調査を実施することで、それらの学校がどのようにして先進校となることができたのか、そこで行われてきた実践の特色や成果に加えて「それが可能になったプロセス」を方法知として見出すことで、全国の特別支援学校におけるICT活用教育の推進に資する知見（校内で取り組むべき内容とその効果的な進め方のポイント）を得ることを目的に研究を進めた。

研究の成果として、ICT活用を推進するためのプロセスマodel（ガイドブックでは簡潔に「推進マップ」と呼んでいる）を明らかにして、特別支援学校におけるICT等を活用し

た障害のある子供の指導・支援を推進するための取組に関するガイドブック（「推進ガイド」と呼んでいる）を作成した。

ガイドブックは、研究協議での議論を経て、自校で ICT を活用した教育を推進するためのチェックリストを付してあり、学校の管理職、校内の ICT 活用を推進するリーダー的立場の教員の方を中心に、自校ができているところ（長所、強み）、どちらともいえない、もしくはできていないところ（課題等）を把握することで、自校の ICT を活用した教育の現在の状況や、今後重点的に取り組む必要のある事項を確認し、その具体的な方策、を目指す姿を明らかにして、各学校の ICT 活用の推進、指導・支援の充実、そして一人一人の子供たちの自立や社会参加へとつなげて頂ければ幸いである。

また、2年間の研究では、ICT 活用の基礎的な情報や活用実践の先行研究等のまとめに加えて、特別研究員による研究として校内研修で ICT を活用した授業を計画し、振り返るための実用的なシートの作成なども行われている。それらを合わせて参考にして頂きたい。

報告書に掲載した推進ガイドは、学校で利用して頂きながら内容の改善や更新が行われることを前提としている。なお、当初、ガイドブックには、小学校、中学校についての内容も盛り込むことを想定していたが、先進校として推薦されたのは小学校2校、中学校1校であり、調査を実施できた学校が小学校2校と少数であったことからガイドブックには含めることができなかった。今後、市区町村教育委員会等から推薦を得ることや、対象数が多くなる場合にはガイドブックの開発手法の検討を含めて、取り組むべき今後の課題と考えている。

研究代表者 発達障害教育推進センター 上席総括研究員 棟方 哲弥